

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、佐鳴台圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和3年10月19日（火）10時00分から11時40分まで
参加者	委員16名、関係機関11名
場所	西部協働センター ホール
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 佐鳴台地区生活支援体制づくり協議体 会長 新規委員、関係機関 紹介</p> <p>3. 協議事項</p> <p>①昨年度までの振り返り 生活支援コーディネーターより、パワーポイント資料を用いて協議体会議開催の背景について説明し、昨年度までの会議について振り返りを行った。</p> <p>②生活支援コーディネーター地域訪問報告 生活支援コーディネーターより、パワーポイント資料を用いて訪問した佐鳴台、広沢の様子について報告。</p> <p>③他地区 協議体会議について 地域支援課より、パワーポイント資料を用いて生活支援体制づくり協議体の浜松市内外の協議体会議の運営状況の紹介をした。</p> <p>④様々な地域活動の紹介 副センター長より、パワーポイント資料を用いて浜松市内外の地域活動について紹介を行った。</p> <p>⑤グループワーク A、B、C、Dグループ（各地区を混合したグループ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まち」「地区」「活動」の5年、10年、20年先について ・維持していく、強めていく、改善していくために必要なこと <p><Aグループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働センターで集まる活動やイベントを行っているが来られない人がいる。自治会単位で集まれる場所があったらいい。 ・1人暮らしなど外出出来ない人にどう寄り添っていくか。みんなで助け合う住民主体での話し合いが必要。 <p><Bグループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか5年先、10年先の見通しは難しい。今出来ることから考えていきたい。 ・地域の声をもっと反映出来るような居場所が必要。 ・おすそ分け、挨拶など隣近所の関わりが大切になってくる。 <p><Cグループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人から自治会や子ども会加入のアクションを待つだけでなく、地域からもメリットを提示するなどしてアクションをおこすことが必要。

	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と地域との関わりがあると良い。 ・男性向けの集いの場も必要では。 ・人とのつながりを求めている人が地域にはいるが、集まる場所がない。 <p><D グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化で、民生委員に頼む人が増えている。他の人に頼むことが出来ない。 ・シニアクラブ、民生委員が高齢化により担い手不足。一人で何役も担っている人がいる為、負担を軽減したい。 <p>⑥全体共有</p> <p>グループワークの内容について、発表で共有。</p> <p>4. 次回以降の会議日程について 2022年1月頃を予定。</p> <p>5. 連絡事項 特になし</p> <p>6. 閉会 佐鳴台地区生活支援体制づくり協議体 副会長</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>今後、地域住民が抱えている佐鳴台圏域の課題について、何が出来るか詳しい話し合いが必要。現在の圏域内の地域資源についても把握をすすめていきたい。</p>